

石川県立自然史資料館の平成29年度管理状況

様式3

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 高木 政喜
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日
中期経営目標 (H29～H33)	<ul style="list-style-type: none"> ①入館者数を5年間で7,000人に増加させます。 ②出前講座、野外活動等の館外事業を積極的に実施することにより、館外事業の参加者数を5年間で1,300人に増加させます。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の打合せや全体会議及び学芸員会議（各月1回）で開催イベント等の共通理解をはかり接遇向上に努めている。 ・利用者アンケートの実施 ・アンケートの意見を生かし、より見やすい展示、わかりやすいチラシ等の作成に努めている。 自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「大人のための植物学講座」など教育・普及プログラムを24回実施（参加人数404人） ・企画展「冬虫夏草展－昆虫と菌類の不思議な世界－」などの開催（参加人数5,665人） ・館内ミニ展示 「蛍光鉱物」など3回
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットやチラシ等の配付 ・学校・公民館等施設を直接訪問し団体向けプログラムのPR ・金沢大学資料館、北陸学院ウィン館との連携企画展を開催

(2) 平成30年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>大学等研究機関との連携を図り、講演会やワークショップなどを拡大し、開催する。また、県などが開催するイベントに積極的に出展するなど広報に努める。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H28年度	H29年度	前年度比	基準値比	H33年度 (目標値)	
(1) 利用者数	5,022人	7,468人	6,281人	-15.9%	25.1%	7,000人	
(2) 館外事業参加者数	1,218人	1,274人	1,279人	0.4%	5.0%	1,300人	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	100.0%	95.8%	95.8%	0.0%	-4.2%	95.0%	
施設の維持管理 (%)	98.0%	95.5%	99.0%	3.5%	1.0%	95.0%	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	前年度は、ダイオウイカの展示が人気となり、過去最高の入館者数であったため	ダイオウイカの展示を継続しており、H30年度も一定の人気があったことや「冬虫夏草展」等の企画展示が好調で、入館者増につながったため
館外事業参加者数	—	いしかわ環境フェアに出展し、館外事業を行ったため

<利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数120件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	66.2%	29.6%	2.8%	1.4%
施設の維持管理 (%)	68.6%	30.4%	1.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃：週2回 定期清掃：年2回 硝子清掃：年2回 産業廃棄物処理：月2回
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物保安：（月1回、絶縁試験など年1回） 消防用設備保守点検：年2回 昇降機保守点検：月1回 空調保守点検：年2回 衛生管理（受水槽など）：年1回
(3) 植栽維持管理	年2回の一斉除草
(4) 警備	施設全体の警備及び駐車場の管理（毎日） 防犯警備（夜間は機械警備）
(5) 小規模修繕	空調機器、電気設備等の修繕

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施（年2回実施：12月、3月）
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

該当無し

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

該当無し

(3) 収支決算

（単位：千円）

収入		支出	
指定管理料	42,852	人件費	24,015
利用料収入	0	光熱水費	6,607
その他	0	修繕費	120
		その他	12,110
合計 ①	42,852	合計 ②	42,852
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

特になし

7 事故、故障等

特になし

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見(工夫・改善点)
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種講座や企画展について、近隣市町や学校、公民館等への訪問やホームページへの掲載など広報活動を行った結果、開館以来2番目の入館者数となった。 ・ いしかわ環境フェアの里山里海展への参加や館外での展示などにも積極的に取り組み、施設のPRを行っている。 ・ 多くの利用者に来て頂けるよう、企画展の内容には、更なる工夫の余地があると思われる。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内は常に清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するなど適切に管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 ・ 個人情報については職員に周知徹底が図られており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書等に基づき適切な管理運営がなされており、今後も適正な管理とさらなる利用促進に向けた取組を期待する。

○ 評価基準

- A(優) : 仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B(良) : 仕様書等に定める水準を上回っている
- C(可) : 概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D(不可) : 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A(優) : 優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B(良) : 優れた管理運営がなされている
- C(可) : 適正な管理運営がなされている
- D(不可) : 改善が必要である

10 助言・指摘事項

--